

司祭不在のときの主日の集会祭儀(試用版)
—「晩の祈り」の形式(聖体拝領を行う場合)—

開祭

1 初め

会衆が集まると、各共同体で決めた方法によって式の始まりが知らされる。

一同は起立し、司会者とともに自らに十字架のしるしをする。

司 ✦ 神よ、わたしを力づけ、

一同 急いで助けに来てください。

司 栄光は父と子と聖霊に、

一同 初めのように今もいつも世々に。アーメン。(アレルヤ。)

2 賛歌

典礼季節やその日の特徴を考慮して、ふさわしい賛歌を歌う。

3 招きのことば

司会者は、ふさわしい言葉で一同を招く。

詩編唱和

4 一同は着席し、詩編を唱える。先唱の「アレルヤ」は四旬節には省く。

歌う場合は『教会の祈り』の旋律(『典礼聖歌』364)を用いる。

第一唱和(詩編110・1-5、7)王であり祭司である救い主

先 神は王しゃくを持つあなたをシオンから起こされた。アレルヤ。

四旬節、復活節に

先 主は勝利をおさめ、その力を現す。(アレルヤ。)

神はわたしの主に仰せになる。

「わたしの右にすわれ。はむかう者をおまえの足台とする。」

神は王しゃくを持つあなたをシオンから起こされた。

はむかう者の中で治めてください。

生まれた日からあなたには王の威厳が備わっている。

あなたは朝の露のように生まれ、光り輝く。

「メルキゼデクのように、おまえは永遠の祭司。」

これはゆるぎない神のことば。

神は、その右の手で
怒りの日、王たちを砕かれる。
主は諸国をさばき、勝利をおさめ、
遠く地の果てまで、力をもって君臨する。

主は沢の流れでかわきをいやし、
こうして、その力を現す。
栄光は父と子と聖霊に、
初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

第二唱和 (詩編114) エジプトから解放されたイスラエル

先 地は神の前におののけ。(アレルヤ。)

イスラエルがエジプトを出て
ヤコブの家がことばの違う民から離れた時、
ユダは神の聖地となり、
イスラエルは神の国土となった。

海はこれを見て退き、
ヨルダンはその流れをもどした。
山は雄羊のようにおどりががり、
丘は小羊のように喜びおどった。

海よ、どうして退くのか。
ヨルダンよ、どうして流れをもどすのか。
山よ、どうして雄羊のようにおどりががり、
丘よ、どうして小羊のように喜びおどるのか。

地は神の前に、ヤコブの神の前におののけ。
神は岩を流れに、石を泉に変えられた。
栄光は父と子と聖霊に、
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

第三唱和 (黙示録19・1-7) 小羊の婚宴

先 神をほめたたえよう。(アレルヤ。)

勝利と栄光と力はわたしたちの神のもの、
神のさばきは真実で正しい。
神のすべてのしもべよ、わたしたちの神を賛美せよ。

神をおそれ敬う者はみな、神を賛美せよ。

主は万物を支配され、
わたしたちの神である主は王となられた。
わたしたちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。
小羊の婚宴の時に来て、花嫁のしたくはできた。
栄光は父と子と聖霊に、
初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

四旬節には以下を唱える。

第三唱和（一ペトロ 2・21b-24）神のしもべの受難

先 キリストは、わたしたちのために苦しみを受け、模範を残された。

キリストは、わたしたちのために苦しみを受け、
あなたがたがその跡に従うよう模範を残された。
キリストは罪を犯したこともなく、
いつわりを口にされたこともない。

ののしられてもののしり返すことなく、
苦しめられてもおどすことなく、
正しくさばかれるかたに、
ご自身をゆだねられた。

わたしたちが罪に死んで正しく生きるため、
キリストは十字架の上で、
わたしたちの罪を身に負われた。
その傷によって、あなたがたもいやされた。
栄光は父と子と聖霊に、
初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

ことばの典礼

5 その日のミサのことばの典礼を続ける。

6 第一朗読

朗読者はミサと同じように聖書を朗読する。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

7 答唱詩編

一同は答唱詩編を歌うか唱える。

8 第二朗読

第一朗読と同じように行われる。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

9 アレルヤ唱（詠唱）

一同は起立し、アレルヤ唱（詠唱）を歌う。

10 福音朗読

通常は、助祭が朗読する。

助祭が不在で信徒の司会者が朗読する場合、朗読前の「主は皆さんとともに」は省く。

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

助 ○○○による福音。

会衆 主に栄光。

朗読の後、助祭または信徒の司会者は福音書を両手で掲げて唱える。

助 キリストに賛美。

会衆 キリストに賛美。

11 説教（勧めのことば）

助祭が司式する場合は説教を行う。

信徒が司会する場合、司祭があらかじめ準備した説教を読み上げるか、司祭とともに準備した、福音朗読に基づくふさわしい勧めのことばを述べることができる。

説教（勧めのことば）の後、一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

12 信仰宣言

一同は起立して、以下のいずれかの信条を歌うか唱える。

ニケア・コンスタンチノーブル信条

一同 わたしは信じます。唯一の神、全能の父、

天と地、見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。

わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。

主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、

神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、

造られることなく生まれ、父と一体。すべては主によって造られました。

主は、わたしたち人類のため、わたしたちの救いのために天からくだり、

以下、「人となられました」まで一同は礼をする。

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となりました。
ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、
苦しみを受け、葬られ、
聖書にあるとおり三日目に復活し、天に昇り、父の右の座に着いておられます。
主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、父と子とともに礼拝され、栄光を受け、
また預言者をとおして語られました。
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。
罪のゆるしをもたらず唯一の洗礼を認め、
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。
アーメン。

使徒信条

- 一同 天地の創造主、全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。
以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。
主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、
三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、
生者と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだの復活、永遠のいのちを信じます。
アーメン。

13 共同祈願（信者の祈り）

司会者の招きが続いて、他の奉仕者が意向を唱える。

交わりの儀

- 14 共同祈願が終わると、司会者あるいは他の奉仕者は祭壇の準備をする。

15 主の祈り

司会者の招きが続いて、一同は主の祈りを唱える。

- 一同 天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

16 平和のあいさつ

適当であれば、司会者の招きが続いて、一同は手を合わせ、たとえば「主の平和」と言って互いに礼をすることができます。

17 拝領

司会者は、会衆に向かってはっきりとした声で唱える。

司 神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。
一同 主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、
あなたをおいてだれのところに行きましょう。

18 拝領が始まると拝領の歌を歌うことができる。

司会者（と聖体授与の臨時の奉仕者）は、ホスティアを取って拝領者一人ひとりに示して言う。

司 キリストの御からだ。

拝領者 アーメン。

19 拝領後、ホスティアが残っている場合は定められた場所に納め、使用した祭器具などを片づけてから、一同は着席してしばらく沈黙のうちに祈る。

20 マリアの歌

続いて、一同は起立してマリアの歌を歌う。歌の初めに一同は十字架のしるしをする。

交唱 わたしは神をあがめ、神の救いに喜びおどる。（アレルヤ。）

✦ わたしは神をあがめ、
わたしの心は神の救いに喜びおどる。

神は卑しいはしためを顧みられ、
いつの代の人もわたしをしあわせな者と呼ぶ。

神はわたしに偉大なわざを行われた。
その名はとうとく、あわれみは代々、神をおそれ敬う人の上に。

神はその力を現し、
思いあがる者を打ち砕き、

権力をふるう者をその座からおろし、
見捨てられた人を高められる。

飢えに苦しむ人はよいもので満たされ、
おごり暮らす者はむなしくなって帰る。

神はいつくしみを忘れることなく、しもベイスラエルを助けられた。
わたしたちの祖先、アブラハムとその子孫に約束されたように。

栄光は父と子と聖霊に、
初めのように今もいつも世々に。アーメン。

交唱 わたしは神をあがめ、神の救いに喜びおどる。(アレルヤ。)

21 拝領祈願

司 祈りましょう。

一同は司会者とともにしばらく沈黙のうちに祈る。

司 ……わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

閉祭

22 お知らせ

必要に応じて会衆に対して短いお知らせが行われる。

23 祝福と派遣

助 主は皆さんとともに。

会衆 また司祭とともに。

助 全能の神、父と子と聖霊の祝福が ✦ 皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

助 行きましょう。主の平和のうちに。(アレルヤ。)

会衆 神に感謝。(アレルヤ。)

信徒が司会する場合、会衆とともに十字架のしるしをしながら言う。

司 ✦ 全能の神がわたしたちを祝福し、

すべての悪から守り、永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

司 賛美と感謝のうちに。

会衆 アーメン。

24 結びにふさわしい聖歌を歌うことができる。